

1 . 調査の目的

この調査は、市政に関する市民の評価と意見・要望等を幅広く把握し、今後の市政運営に反映させるとともに、政令指定都市となった岡山市の都市づくりを考える上での基礎資料として活用することを目的に実施した。

2 . 調査の対象

市内在住の満 18 歳以上の男女 5,000 人を住民基本台帳及び外国人登録データから地域別・年齢別に考慮しながら無作為抽出。

3 . 調査の方法

郵送による配布、回収。

4 . 調査の期間

平成 21 年 12 月 14 日（月）～平成 21 年 12 月 28 日（月）まで。

5 . 回収結果

発送数	5,000 通
回収数	1,962 通（回収率 39.2%） 平成 22 年 1 月 31 日到着分
有効回収数	1,959 通（回収率 39.2%）
無効回答数	3 通

6 . 報告書の見方

- (1) 集計対象件数は 1,959 件である。
- (2) 回答は、各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示している。小数点第 2 位を四捨五入しているため、比率の合計が 100.0%にならない場合がある。
- (3) 複数回答を求めた質問では、回答比率の合計が 100.0%を超える。
- (4) 回答があっても、小数点第 2 位を四捨五入して 0.1%に満たない場合は、図表には「0.0」と表記している。
- (5) 図表において、回答選択肢を簡略化して表記している場合がある。

(参考) 調査の精度

本調査は標本調査であるため、ここで得た調査結果から母集団の意識を推定している。調査の精度を見るため、5%区切りの主要な測定値について、信頼区間1/2幅を算出する。

(100 -): 信頼度 (%)	68.3	90.0	95.0	95.5	99.0	99.7
: 推定を誤る確率 (%)	31.7	10.0	5.0	4.5	1.0	0.3
K ()	1.000	1.645	1.960	2.000	2.576	3.000

備考: K () は正規分布の特性から上記の表で与えられる値

調査 (標本抽出) によって得られた標本比率 p を中心として、 $\pm V(p)$ の範囲を考えれば、母比率 P が $p \pm 1.96 V(p)$ の間の値である確率は95%以上である。この95%という数字は $p - 1.96 V(p) < P < p + 1.96 V(p)$ と推定した場合、その推定の確からしさを示している。

備考: $V(p)$: 標準偏差 (標準誤差) p : 標本比率

算式は以下の通りとする。

$$1.96 \sqrt{\frac{\text{母集団数} \times \text{標本数}}{\text{母集団数} - 1} \times \frac{\text{測定値}(\%) (100 - \text{測定値}(\%))}{\text{標本数}}}$$

たとえば男女別のクロス集計の結果、「男性」の回答した割合が10.0%であった場合、下表により $\pm 2.1\%$ の誤差があることが分かる。真の回答は95%の確率で7.9%から12.1%の間にあるといえる。

測定値 (%)	母集団	岡山市	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	男性	女性
	母集団数	577,550	13,911	84,913	106,934	87,361	86,082	93,666	104,683	273,518	304,032
	標本数	1,959	34	158	268	261	309	445	475	778	1,166
50	50	2.2	16.8	7.8	6.0	6.1	5.6	4.6	4.5	3.5	2.9
45	55	2.2	16.7	7.8	5.9	6.0	5.5	4.6	4.5	3.5	2.9
40	60	2.2	16.4	7.6	5.9	5.9	5.5	4.5	4.4	3.4	2.8
35	65	2.1	16.0	7.4	5.7	5.8	5.3	4.4	4.3	3.3	2.7
30	70	2.0	15.4	7.1	5.5	5.6	5.1	4.2	4.1	3.2	2.6
25	75	1.9	14.5	6.7	5.2	5.2	4.8	4.0	3.9	3.0	2.5
20	80	1.8	13.4	6.2	4.8	4.8	4.5	3.7	3.6	2.8	2.3
15	85	1.6	12.0	5.6	4.3	4.3	4.0	3.3	3.2	2.5	2.0
10	90	1.3	10.1	4.7	3.6	3.6	3.3	2.8	2.7	2.1	1.7
5	95	1.0	7.3	3.4	2.6	2.6	2.4	2.0	2.0	1.5	1.2

7 . 学区別調査結果

No.	中学校区名	発送数	有効回収数	有効回収率
1	岡山中央	143	63	44.1%
2	京山	178	69	38.8%
3	岡北	162	77	47.5%
4	石井	170	66	38.8%
5	桑田	253	93	36.8%
6	岡輝	174	57	32.8%
7	福浜	189	64	33.9%
8	福南	127	39	30.7%
9	芳泉	190	73	38.4%
10	東山	137	43	31.4%
11	操山	213	72	33.8%
12	操南	175	64	36.6%
13	富山	97	45	46.4%
14	御南	182	65	35.7%
15	芳田	152	45	29.6%
16	光南台	51	26	51.0%
17	竜操	248	80	32.3%
18	高島	136	65	47.8%
19	旭東	196	87	44.4%
20	上南	52	24	46.2%
21	西大寺	160	70	43.8%
22	山南	70	30	42.9%
23	中山	156	71	45.5%
24	香和	142	56	39.4%
25	高松	128	41	32.0%
26	吉備	205	82	40.0%
27	妹尾	100	42	42.0%
28	福田	81	35	43.2%
29	上道	122	55	45.1%
30	興除	103	45	43.7%
31	足守	57	21	36.8%
32	藤田	92	30	32.6%
33	御津	78	33	42.3%
34	灘崎	119	50	42.0%
35	建部	52	25	48.1%
36	瀬戸	110	55	50.0%
37	地区不明	0	1	
	全体	5000	1959	



③⑤ 建部

③③ 御津

③① 足守

②④ 香和

③⑥ 瀬戸

③ 岡北

②⑨ 上道

②③ 中山

②⑤ 高松

①⑧ 高島

①⑨ 旭東

② 京山

①⑦ 竜操

④ 石井

①① 操山

②① 西大寺

①③ 富山

②⑥ 吉備

①⑤ 東山

①④ 御南

①② 操南

②② 上南

①⑥ 福南

②⑧ 福田

①⑦ 福浜

②⑦ 妹尾

①⑧ 福南

①⑤ 芳田

①⑨ 芳泉

③① 興除

①⑩ 光南台

③② 藤田

③④ 灘崎